

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
公演団体名	日本センチュリー交響楽団

内容

- ・内容の一部変更を検討いたします
全体での歌唱の実施が難しい場合など、各学校の状況をヒアリングしながら、その状況に合わせる形で実施内容を柔軟に変更いたします。
- ・時間を短縮する等の対応を検討いたします
基本の90分から、60分や45分に内容を短縮する等、実施形態の変更を検討いたします。
- ・ワークショップの実施そのものが難しい場合
スタッフ2名が本公演へ向けた打合せのみにお伺いし、その際に代替となる教材資料をお渡します。その教材等を基に、事前指導をお願いいたします。なお、周辺道路状況や搬出入経路の確認、体育館の状況確認や控室として使用させていただくお部屋など、各所の確認が必要ですので、打合せのみの形にはなりますが、訪問をさせていただいての打合せを実施させていただきます。

タイムスケジュール（標準）

各状況によって変動します。
お打合せのみの場合は1時間半～2時間程度をご予定ください。

（標準スケジュール 10時45分開演の場合）

9時00分学校着

9時15分～10時30分 会場設営～リハーサル、先生との打ち合わせ

10時30分～10時45分 ミーティング、休憩

10時45分～12時15分 ワークショップ（15分の休憩有り）

12時15分～13時00分 片付け、先生との打ち合わせ

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

ワークショップ実施の場合：演奏者4名＋スタッフ2名

お打合せのみの場合：スタッフ2名

学校における事前指導

小学校：歌唱指導を行いますので、予め共演曲と校歌の練習をしておいてください。

中学校：吹奏楽部との共演曲は、パート練習、合奏練習をしますので、譜読みを終えておいて下さい。吹奏楽部との共演がない場合は小学校公演同様、共演（全校合唱・合唱部）曲の練習をしておいてください。

ただし、各学校の状況によって、歌唱指導ができない場合は不要とし、ワークショップでの取り上げもいたしません。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
公演団体名	日本センチュリー交響楽団

演目

合唱共演曲の割愛等、各学校の状況に併せて柔軟に対応いたします。なお、基本プログラムは以下の通り。

小学校公演

【オープニング】ビゼー：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲

【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】各楽器の説明と演奏

【オーケストラが奏でるみんなの校歌】各校校歌

【オーケストラとの共演①】三村総撤編：手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」

－ 休憩 －

【サプライズファンファーレ】(体育館後方より、金管・打楽器による演奏)

すぎやまこういち：ドラゴンクエスト序曲

【指揮を体験してみよう】(各校代表者2名程度)

オッフェンバック：歌劇『天国と地獄』より序曲(抜粋)

【オーケストラで感じる大阪の色】徳山 美奈子：大阪素描 より 祭

【オーケストラとの共演②】(以下より1曲を選択)

杉本竜一：ピリブ、村井邦彦：翼をください、平吉毅州：気球に乗ってどこまでも

菅野よう子：花は咲く、米津玄師：パブリカ、F.W.メラー：ゆかいに歩けば

【大迫力のオーケストラ】チャイコフスキー：バレエ組曲『くるみ割り人形』より 花のワルツ

【アンコール】久石譲：「となりのトトロ」～さんぽ

中学校公演

【オープニング】ビゼー：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲

【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】各楽器の説明と演奏

アンダーソン：プリンク・ブレンク・ブランク

アルフォード：ボギー大佐

【オーケストラの響きの発展】

ヘンデル：水上の音楽より アラ・ホーンパイプ

オッフェンバック：歌劇『天国と地獄』より序曲

－ 休憩 －

【オーケストラとの共演】(以下より1曲を選択)

ホルスト：吹奏楽のための第一組曲より行進曲 (吹奏楽部)

村井邦彦：翼をください (全校合唱)、八木澤教司：あすという日が (全校合唱)

【指揮を体験してみよう】(各校代表者2名程度)

ブラームス：ハンガリー舞曲第5番(抜粋)

【オーケストラで感じる大阪の色】徳山 美奈子：大阪素描 より 祭

【大迫力のオーケストラ】スメタナ：連作交響詩『我が祖国』より モルダウ(ブルタヴァ)

【アンコール】各校校歌

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

指揮者：1名、オーケストラ：58名(コンサートマスター1名を含む)、
オーケストラ同行マネージャー：2名、
ステージスタッフ：4名(ステージマネージャー1名を含む)
計 65名

タイムスケジュール(標準)

(13時30分開演の場合)

9時00分 楽器搬入～会場設営
12時00分 指揮者、オーケストラ楽団員会場入～公演準備
13時30分～15時00分 公演
15時30分 オーケストラ楽団員会場出
15時00分～16時00分 楽器搬出、会場片付け
16時15分 完全退校

実施校への協力依頼人員

楽器搬出入時に3名ほど補助をお願いする場合があります。(搬出入環境による)
楽屋などの消毒作業や消毒液設置などの協力をご依頼する場合があります。

演目解説

子ども達とオーケストラとの一期一会の特別なコンサート、初めてオーケストラを聴く子ども達が、集中力を切らさず、オーケストラの魅力を存分に味わうことができる曲目構成としました。また、子ども達の成長過程に合わせた公演内容とするため、小学校と中学校では異なるプログラムを用意し、それぞれより深く、オーケストラや音楽に親しめるように、そして、ワークショップとの繋がりがより濃くなるように構成しております。それぞれの作品は、聴きやすい旋律を持ちながらも、異なる性格を持ち、その対比を感じ取ることによって、音楽に対する感性を働かせ、音楽の多様性を感じられるものを選択しています。

また、子ども達がオーケストラと共に音楽を作る作品も盛り込み、自発的な活動を引き出し、双方向のコミュニケーションを取れることを目指します。また、鑑賞・参加することによって、日本だけでなく世界の音楽と文化との関わりを感じ取りやすい作品や、人々に長く親しまれている作品に自然とふれることができる、そして全身で音楽の魅力を体感できる曲目構成としました。

【オープニング】

ビゼー:歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲

コンサートの幕開けは華やかなオペラの前奏曲です。スペインを舞台にしたオペラですが、競技場に集まった大観衆の中から闘牛士の歌が聴こえてくる様子が音で描写されています。

【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】

各楽器の説明と演奏

(小学校)オーケストラを構成する楽器それぞれの音をしっかりと見て聴いていただきます。

(中学校)各楽器の説明の後に、それぞれの楽器の特徴のわかる作品をお聴きいただきます。

アンダーソン:プリンク・ブレンク・ブランク(弦楽器)、アルフォード:ボギー大佐(管・打楽器)

【オーケストラが奏でるみんなの校歌】

各校校歌

小学校公演では、オーケストラの自己紹介の後に、コンサートを一緒に作り上げるみなさんを紹介する曲として演奏し、会場全体の一体感を作り上げます。中学校公演ではアンコールとして演奏します。

【オーケストラの響きの発展】（中学校公演）

ヘンデル: 水上の音楽より アラ・ホーンパイプ
オッフエンバック: 歌劇『天国と地獄』より序曲

オーケストラの始まりとなる時代の作品を聴いた後、その作品との対比が如実である作品を聴くことによって、およそ 200 年の歳月を経て発展していったオーケストラの響きを感じていただきます。オッフエンバックの作品は、各楽器の音色やオーケストラの中で担う役割をハッキリと感ずることができ、よく知っているフレーズ(カンカンの部分)だけではなく、作品全体を鑑賞することで、作品の構成や変化を知ることの重要性にも気づいていただきたいという思いを込めています。

【オーケストラとの共演①】（小学校公演）

三村総撤編: 手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」

様々なリズムを手拍子で音楽に参加します。ラデツキー行進曲、ソーラン節、ABC、マンボ No.5、Concierto de Aranjuez、おもちゃのチャチャチャ、風になりたい、といった楽しい小品と共に、だんだん難易度が上がるリズムパターンに挑戦します。

【ファンファーレ】(体育館後方より、金管・打楽器による演奏)

すぎやまこういち: ドラゴンクエスト より 序曲

体育館の前で演奏しているだけではありません。児童生徒のみなさんにはビックリ! サプライズ。オーケストラをより身近に感じていただきます。

【オーケストラとの共演②】（小学校公演、以下より1曲選択）

杉本竜一: ビリーブ、村井邦彦: 翼をください、平吉毅州: 気球に乗ってどこまでも
菅野よう子: 花は咲く、米津玄師: パプリカ、F.W.メラー: ゆかいに歩けば

【オーケストラとの共演】（中学校公演、以下より1曲選択）

ホルスト: 吹奏楽のための第一組曲より 行進曲（吹奏楽部）

村井邦彦: 翼をください（全校合唱）、八木澤教司: あすという日が（全校合唱）

【管弦楽による日本・大阪の響き】

徳山美奈子: 大阪素描より 祭

日本センチュリー交響楽団(当時大阪センチュリー交響楽団)が 1997 年に委嘱し初演した作品。大阪の祭りの伝統を色濃く映した作品で、伺う学校、地域との文化交流を図ります。

【大迫力のオーケストラ】

チャイコフスキー: バレエ組曲『くるみ割り人形』より 花のワルツ（小学校公演）

華やかなオーケストラの日々を堪能できる作品。小学校公演のプログラムの最後を飾ります。

スメタナ: 連作交響詩『我が祖国』より モルダウ(ブルタヴァ)（中学校公演）

オーケストラの壮大な響きをお聴きいただきます。スメタナの祖国に対する強い愛を反映した交響詩から音楽の教科書にも取り上げられている、ブルタヴァ(モルダウ)を取り上げます。オーケストラが描く河の流れや周囲の風景など様々な情景を想像しながらお聞きいただきます。オーケストラの表現の幅広さを存分に感じ取れる作品です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

指揮者体験コーナー（小中学校プログラム共通）

学校代表の児童生徒にオーケストラの指揮を体験してもらいます。

手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」(小学校プログラム)

当団オリジナルで編曲した、手拍子協奏曲「クリップ・ビート・クラップ! 2」では行進曲から始まり、日本の民謡(ソーラン節)、ラテン音楽やフラメンコのリズムなど様々なリズムパターンを体験し、手拍子でオーケストラと共演します。

オーケストラの伴奏で歌おう（小中学校プログラム共通）

オーケストラ伴奏で歌い共演するコーナーでは、選択曲の幅を広げ、各校に適した教材を実施校に選択いただけます。小規模校にも、音楽に力を入れている学校にも柔軟に対応します。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況や各学校の音楽の授業での指導方針に併せて、曲の割愛、歌わずに手話や振り付け等での共演に変更する等、柔軟に対応いたします。

吹奏楽部との共演（中学校プログラム）

中学校公演で学校の希望がある場合は、吹奏楽部とオーケストラとの共演のコーナーを設けます。吹奏楽とオーケストラ、共通したクラシック作曲家である、ホルストの吹奏楽の名曲、吹奏楽のための第1組曲より 行進曲 を共演します。

サプライズファンファーレの演奏（小学校プログラム）

広い体育館での鑑賞で会場の後ろで鑑賞している児童にもコンサートに積極的に参加する意識を高めていただくために、後半の開始前に体育館後方からサプライズでファンファーレを演奏し、金管楽器と打楽器の迫力ある演奏を間近で感じていただきます。

校歌のプレゼント（小中学校プログラム共通）

校歌をオーケストラ伴奏版に編曲し、小学校公演ではプログラム本編中に、中学校公演ではアンコールに会場全員で演奏します。公演の記念として、後日オーケストラ伴奏の演奏をCDに録音し、楽譜と併せて学校に贈呈いたします。

児童生徒とのふれあい

【ワークショップ】

クイズコーナーや質問コーナーを設け、子供達の声を聞きながら進めて行きます。ボイスアンサンブルでは、メンバーから説明を受けながら大勢で演奏を作る面白さを体験していただきます。

【本公演】

手拍子協奏曲“クリップ・ビート・クラップ!”と一緒に演奏します(小学校プログラム)。手拍子でオーケストラと共演するだけでなく、歌ったり、ナビゲーターに「突っ込み」を入れたりして、子供たちとの時間を共有します。また、コンサートの休憩中は、楽団員も体育館にいます。興味を持った楽器やオーケストラについてお話をし、オーケストラを身近なものとして感じていただきます。

【吹奏楽部との共演】

吹奏楽で共演する生徒さんとは、ワークショップ、本公演を問わずコミュニケーションを深め、音楽や楽器にさらに興味を持ってもらえるようにいたします。